学校番号	206

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	最新　生活ハンドブック　2020　資料＆成分表（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に興味関心をもち積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をグループ学習や演習等を通して理解を深め、知識を身につけます。多様な考え方を学び、自らの意見をまとめて発表できる力をつけます。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技能を身につけます。グループで協力し合うこと、コミュニケーションを充分取り合うことを意識して、よりよい成果や表現ができることを体験的に学びます。
〇家庭科で学んだことを実生活に役立て、自分自身の将来の生活設計につなげましょう。
・学んだことを自分の生活の課題として捉え、将来を展望し、充実した生活の実現をめざします。
・よりよい社会を実現するために必要な行動や態度を考え、実践できる能力を身につけます。

2　学習の到達目標

家族や家庭・保育・福祉・衣食住・家庭経済・消費生活及び生活設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。また、ホームプロジェクトを通して問題解決能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生活事象全般について関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的で協力する態度を身に付けている。	生活事象全般について生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	生活事象全般に関する基礎的・基本的な技術について習得するとともに、様々な実験実習や演習等を通して積極的に学ぶ態度を身に付けている。	生活事象全般に関する基礎的・基本的な知識を習得するとともに、将来の自分自身の生活設計に繋げる姿勢を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 レポート課題 実習計画・記録表作成	学習状況の観察 グループ学習、発表、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワーク、実験実習、制作実習、実習記録	学習状況の観察 レポート課題 定期考査　　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間まで（4～6月）	ガイダンス　衣生活をつくる	○家庭科の学び方 ○被服の機能と選び方 ＊被服材料の性能 ○被服の社会的機能と着装 ＊自分に似合う色とは？ ○被服の管理と計画 ＊界面活性剤のはたらき ○これからの衣生活 ○製作実習 ＊フエルト作品 ＊作品発表会 ○調理実習ガイダンス ＊砂糖の加熱による変化 （調理実習に関しては、年間を通して実施する:6回）	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:健康で快適な衣生活、ライフスタイルと被服、衣生活全般に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:被服管理と計画、衣生活全般について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服管理と計画などの技術および作品を工夫し完成させる態度を身に付けている。 d:被服の機能、被服材料、被服管理などについて科学的に理解し、衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作物 定期考査

前期期末まで（6～9月）	食生活をつくる	○食生活の管理と健康 ○食事と栄養・食品 ＊身近な飲料の検査 ＊加工食品作り ＊一日に必要な食品調査 ○食生活の安全と衛生 ＊食の安全のために必要なこと　論述 ○調理の基礎 ○調理実習① ＊身近な食品を手作りする（ピザ作り） ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・暑い夏を乗り切る健康的な食生活と水分補給について　飲料の選び方	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:健康的な食生活、ライフスタイルと環境およびホームプロジェクトに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食生活全般について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生などの技術について実験実習を通して身に付けている。調理実習を通して、調理の基礎的な技術と食文化をふまえた実践力を身に付けている。また、計画に沿ったホームプロジェクトが実践できる。 d:食生活全般について体験的な学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。また、ホームプロジェクトの実践に必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 実習計画 実習レポート 発表 相互評価 定期考査
	住生活をつくる	○住居の機能と生活空間 ○ライフステージと住居 ＊物件情報の活用 ○健康的な住まい ＊一人暮らしの部屋設計 ○ユニバーサルデザインについて ＊住まいのユニバーサルデザイン調査	○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住生活全般について課題を見いだし、対応について考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 制作計画 実習レポート 制作物
		前期末考査		○	○	○		定期考査

後期中間まで（10～11月）	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と遊び ＊絵本の読み聞かせ体験 ○育てるということ ＊養育者の態度と子どもへの影響　問題点の発表 ○子育ての現状とサポート ・子どもの福祉 ○調理の基礎・食文化 ○調理実習② ＊一汁二菜の和食作り ○調理実習③ ＊洋食のマナーを学ぶ	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	a:子どもの発達、親としての保育や子育て環境について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:保育の現状について、社会や地域の生活から課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの健やかな発達を支える技術や態度、子育て環境を改善しようとする態度を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
後期期末まで（12～3月）	ささえあって生きる・高齢社会を生きる	○家族・家庭を見つめる ＊家族法クイズ ○高齢社会の現状と課題 ○高齢者の心身の特徴 ＊シニア体験 ○高齢者を支える社会のしくみ ○調理の応用 ○調理実習④ ＊中華鍋を活用した中華料理作り ○調理実習⑤ ＊卵の起泡性を活用した菓子作り	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の協力、高齢者の生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢社会についての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究を通して、家族の在り方について検討する力や高齢者の生活を支援する基礎的な技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、高齢社会の課題と福祉などについて理解し、人の一生を自分の問題として捉え考えていくための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
	経済生活を営む・生活を設計する	○経済生活を営む ・家計や経済活動について ＊教育費と奨学金について ・キャッシュレス社会 ・販売方法の多様化と対 ＊トラブルへの対応方法 ・消費者の権利と責任 ○持続可能な社会をめざしたライフスタイル ・消費者市民社会のためにできること ○生涯を見通す ・生涯を見通した生活設計	○ ○ ○	○ ○ ○	○ 	○ ○ ○	a.消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b.消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について考え、適切に判断して表現している。 c.消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を考えるための技術を身に付けている。 d.将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
		学年末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。